

令和8年度

学校要覧



沖縄県立 鏡が丘特別支援学校浦添分校

住所 〒901-2111 沖縄県浦添市字経塚715

TEL (098) 879-5590

FAX (098) 879-5609

H P <http://www.urasoebunko-sh.open.ed.jp/>

目 次

校章及び教育理念

校歌

I 学校の概要

- 1 所在地 3
- 2 学校案内図
- 3 学校の配置図
- 4 校舎配置図
- 5 沿革の概要
- 6 歴代管理職及びPTA 会長一覧

II 学校経営方針 8

III 教育課程 13

- 1 学校の教育目標
- 2 授業日数配当表
- 3 週時程表
- 4 時数配当表

IV 組織及び運営 16

- 1 生徒数・学級数及び職員数
- 2 疾病障害統計
- 3 市町村別生徒数



校章について

中心の円に「鏡が丘」の文字、それを取り囲むように黄緑と緑の三枚葉を配してある。鏡が丘特別支援学校浦添分校 小学部、中学部、高等部の児童生徒が、木の葉が黄緑から緑葉にかわるように、すくすくと成長してほしいとの願いが込められている。



本校の教育理念

あるがままを受け入れ

成長させる特別支援学校

小さきは 小さきままに
折れたるは 折れたるままに
コスモスの花さく

～昇地三郎～

昭和 55 年 12 月に沖縄療育園で実施された、しいのみ学園園長の昇地三郎先生の講演に感動した初代教頭（伊波園子）が、翌、昭和 56 年に国際障害者年の記念事業として分校設立を記念し、建てた石碑です。

コスモスの花は大小様々。まっすぐに咲く花もあれば、折れ曲がって咲いているものもあります。でも、どれもコスモスの花には変わりなく、それぞれに美しい花です。

本校の児童生徒の障害も様々です。しかし、どんなに障害が重くとも、あるがままを受け入れ、残っている機能を活用し児童生徒個々の花を咲かせ、成長させていく特別支援学校を目指しています。

職員一人一人の力は小さくても全職員の力を合わせると、大きな力になります。みんな目指しましょう。「あるがままを受け入れ、成長させる特別支援学校」を！

校 歌

作詞 古 堅 幸 雄
作曲 中 山 興 真

♩=120



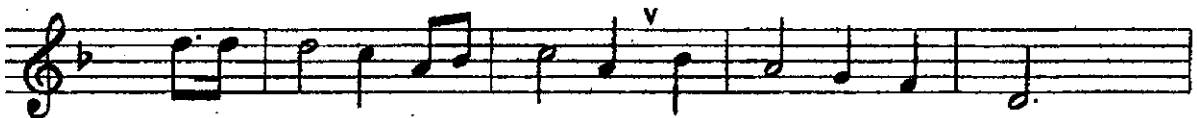
み なみのしー まーのそらあおー く



そよ か ぜかー るく さー わ やか に



あー ふじゅうー を のー りー こえ て



つど いしわー れらひ とすじ に



あか るーく つよ く はー げー みゆ く

校 歌

一、南の島の空青く

そよ風かるくさわやかに

あゝ不自由をのりこえて

集いしわれらひとすじに

明るく強く励みゆく

二、緑の丘の学び舎で

友と手をとり語り合ふ

あゝその歩みおそくとも

あふれる意欲いつまでも

はげましあつて進みゆく

三、未来の夢をめざすとき

鏡が丘に陽が映える

あゝ不自由をのりこえて

集いしわれら胸をはり

希望にもえる明日をよぶ

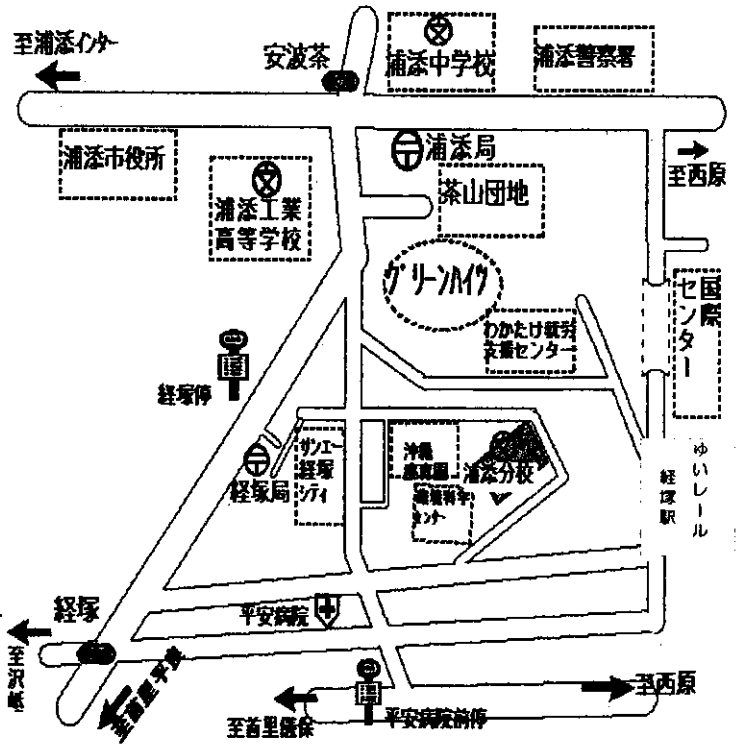
I 学校の概要

1 所在地

浦添市経塚 715 番地
電話 098-879-5590

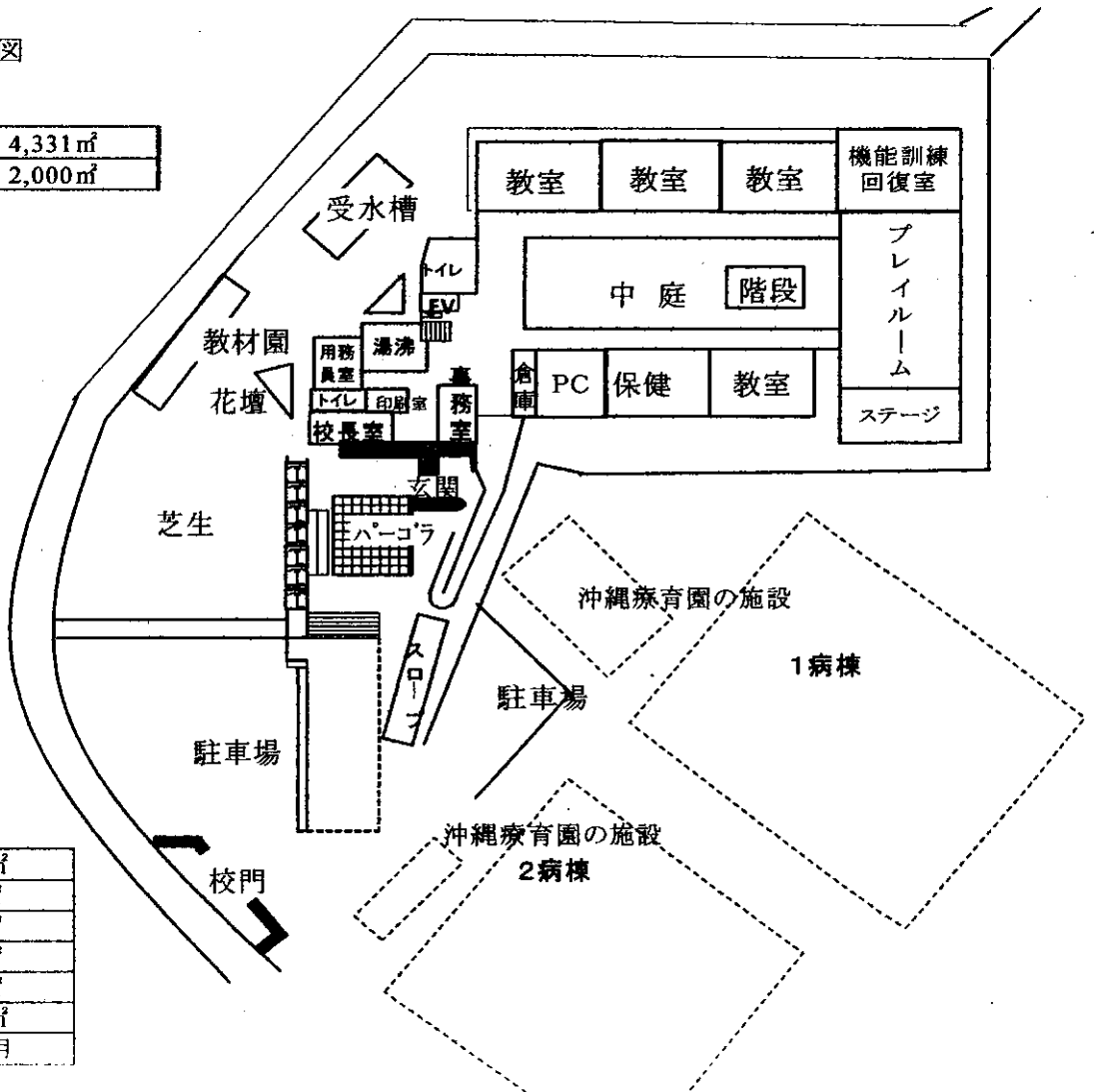
2 学校案内図

- ◎ 沖縄療育園バス停より約 250m
バス路線 (沖縄バス) 徒歩 4 分
87 番、287 番
- ◎ 経塚バス停より約 600m
バス路線 (東陽バス)
91 番、191 番城間線
- ◎ 平安病院前バス停より約 950m
バス路線 (那覇バス)
9 番小禄石嶺線
11 番安岡宇栄原線
17 番石嶺線
25 番普天間空港線
33 番糸満西原 (末吉) 線
- ◎ ゆいレール 経塚駅



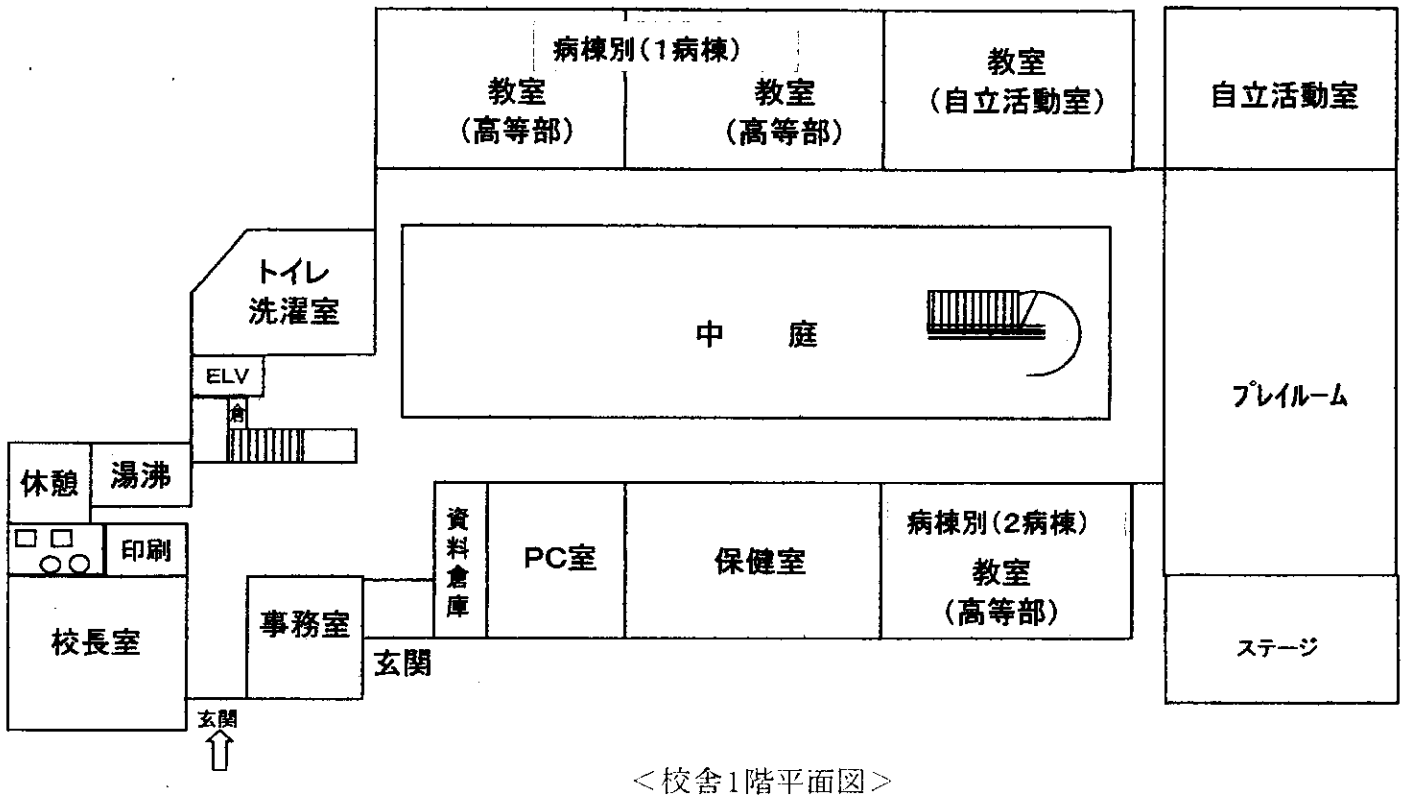
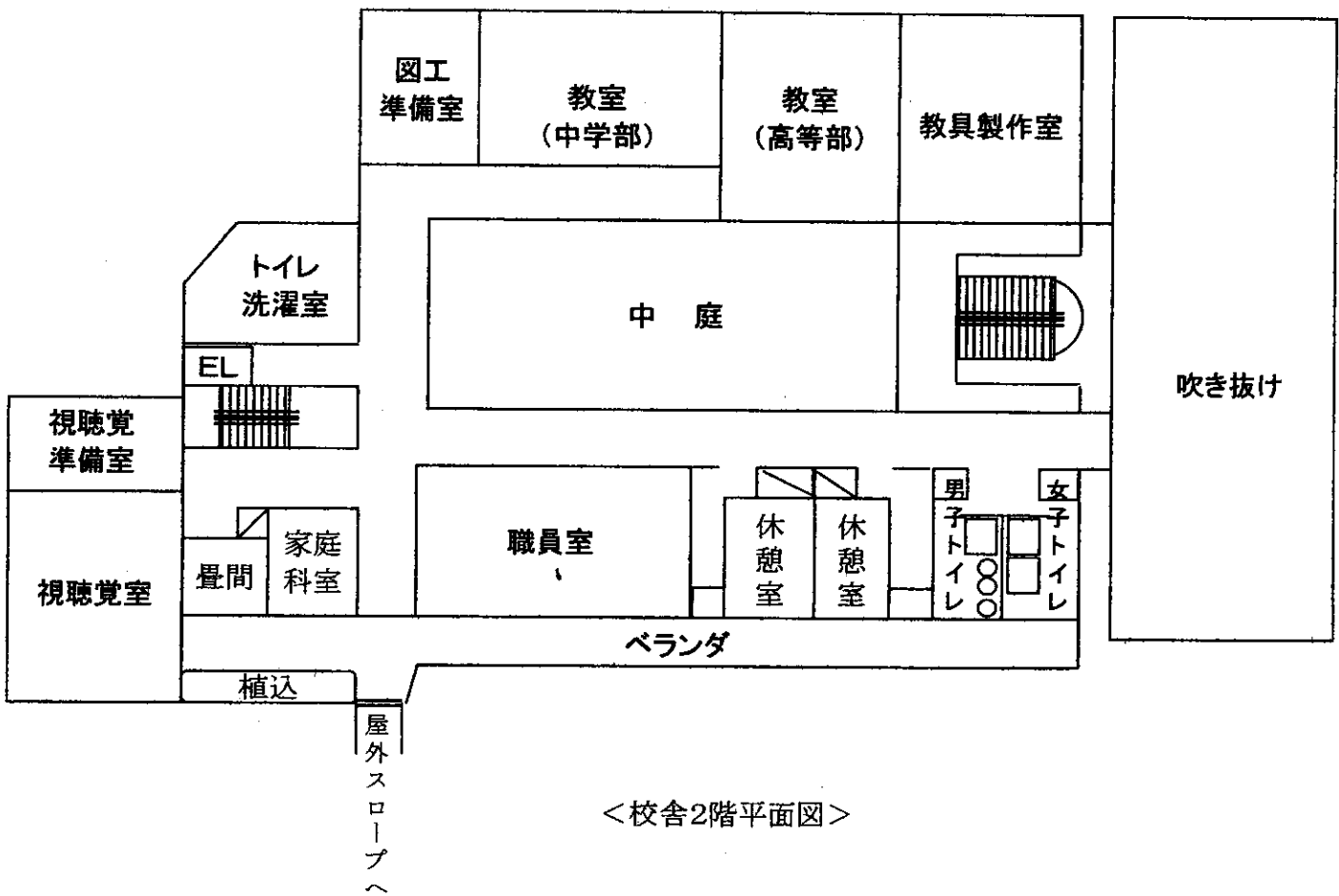
3 学校の配置図

校地面積	4,331㎡
建物面積	2,000㎡



1F床面積	1,193㎡
2F床面積	785㎡
PH床面積	22㎡
機械室	125㎡
延面積	2,125㎡
敷地面積	4,331㎡
建設年月日	昭和56年9月

4 校舎配置図



5 沿革の概要

- 昭和49. 5. 29 県立沖縄療育園訪問学級開級式，訪問指導の開始，児童生徒・・・13人，美咲養護学校教諭・・・1人，非常勤講師・・・3人
- 昭和50. 5. 1 児童生徒数・・・19人，美咲養護学校教諭・・・1人，非常勤講師・・・4人
- 昭和51. 5. 1 児童生徒数・・・22人，美咲養護学校教諭・・・1人，非常勤講師・・・4人
- 昭和52. 5. 1 児童生徒数・・・22人，美咲養護学校教諭・・・1人，非常勤講師・・・4人
- 昭和53. 5. 1 児童生徒数・・・29人，美咲養護学校教諭・・・1人，非常勤講師・・・6人
- 昭和54. 4. 1 養護学校義務制に伴い，県立鏡が丘養護学校訪問教育学級となる
児童生徒数・・・40人（小学部・・・26人，中学部・・・14人），教諭・・・8人
- 昭和55. 12. 18 「しいのみ学園」園長 昇地三郎先生の講演会（訓練棟にて）
- 昭和56. 2. 17 「沖縄県立学校の分校設置に関する規則の一部を改正する規則」により，沖縄県立鏡が丘養護学校浦添分校として設立認可される。
4. 1 沖縄県立鏡が丘養護学校浦添分校発足。児童生徒数40人（小・・・28人，中・・・12人）
初代校長 平良銀永，教頭 伊波園子発令，教職員数22人
4. 24 開校式，入学式（小学部・・・28人，中学部・・・12人）
9. 25 管理棟工事竣工，移転
- 昭和57. 3. 4 国際障害者年記念碑建立
- 昭和58. 2. 8 校舎新築地鎮祭举行
12. 6 校舎等竣工に伴い落成式並びに祝賀会举行
- 昭和59. 10. 3 第1回学習発表会
- 昭和61. 4. 24 開校5周年記念
- 平成2. 7. 5 交流体験学習（沖縄盲学校ひまわり学級）
- 平成4. 3. 10 創立10周年を祝う会（記念植樹，風船上げ，在園卒業生の回想談）
- 平成5. 3. 17 「花と緑と野鳥の住む学園構想」緑化推進コンクールで努力賞受賞
4. 3 メリーゴーランド（外用遊具）設置
- 平成6. 3. 30 玄関前の非常用スロープ竣工
9. 7 校門表札の設置（取り替え）
11. 22 教育センター主催の自作教材教具作品展示会に「僕たちの部屋」優良賞
11. 26 沖縄県緑化コンクールの学校緑化で入選受賞
- 平成7. 4. 10 遊具（4人乗りブランコ）納品設置
10. 27 全教室防音工事完了
- 平成8. 3. 28 特殊教育諸学校緑化コンクール優良賞受賞
- 平成9. 4. 1 「沖縄県立鏡が丘養護学校高等部分教室」正式認定
- 平成11. 11. 13 県緑化コンクールでの学校緑化において「準特選」受賞
- 平成12. 2. 8 稲嶺県知事行政視察（沖縄療育園視察後）
3. 8 第1回分教室卒業式（卒業生11名：男6人 女5人）
4. 20 校舎東側湿地帯道路整備工事始まる
9. 2 OCケーブル工事
- 平成13. 11. 28 パーゴラの工事
12. 27 創立20周年・高等部分教室4周年記念祝賀会，記念誌発刊
- 平成14. 8. 27 バリアフリー工事開始
12. 26 ホームページをインターネットで公開
- 平成15. 6. 27 石碑のお色直し除幕式
- 平成16. 2. 5 山内彰教育長学校訪問
2. 13 シーサー贈呈式と祈願祭 制作者：安藤久子

- 2.14 「笑顔の鐘」設置。 制作者：山城弘慎。命名者：照屋智子（分教室1年生）
- 平成17. 1. 6 感謝状贈呈式：知念重正（校歌版贈呈式）
- 平成18. 4. 24 創立25周年
- 平成20. 2. 5 区画整理道路工事進捗状況説明
- 平成21. 1. 29 平成20年度県指定グループ研究報告会
4. 1 沖縄県立学校の分校の設置に関する規則の一部改正により県立鏡が丘特別支援学校浦添分校に校名変更
- 平成22. 3. 13 プレイルーム側擁壁周辺の排水溝改修工事（3月22日まで）
- 平成23. 4. 24 創立記念日（第30回）」
12. 9 創立30周年記念式典（場所：プレイルーム）
- 平成24. 2. 1 学齢超過者（就学猶予・免除者）の受入開始（訪問教育） 男子1名
（小学部6学年へ編入学。小学部卒業後中学部1学年へ入学）
- 平成25. 4. 1 学齢超過者（男子1名）中学部1年入学
2. 1 学齢超過者小学部6学年へ編入（訪問教育） 女子1名
- 平成26. 4. 1 学齢超過者（女子1名）中学部1年入学
9. 17 沖縄県特別支援学校管理規則の一部改正により高等部「分教室」を廃止。
浦添分校「高等部」（普通科）として新たに設置を決定。（平成27年4月1日より）
- 平成27. 4. 1 高等部「分教室」を廃止し、浦添分校「高等部」（普通科）として新たに設置
- 平成27. 4. 16 大規模改修工事開始（1・2階 - 教室, トイレ, 非常口等）
- 平成27. 7. 29 大規模改修工事竣工
- 平成28. 6. 13 プレイルーム耐震工事開始
- 平成30. 2. 13 パーゴラ改修工事開始（完了28日 検査3.19）
- 平成30. 7. 24 夏季休業中の教材・教具展 ～8月7日まで
- 平成31. 4. 8 中学部1名入学（男子1名）学齢超過者（男子1名）中学部1年入学
- 令和 1 10. 25 屋上非常用発電機更新工事着手会議開始
2. 8 屋上非常用発電機更新工事終了
1. 4 コロナウイルス感染症対応のため臨時休業（～15日まで）
- 令和 2. 4. 6 新型コロナウイルス感染防止に伴う臨時休業（5月6日まで延期）
12. 9 創立40周年記念事業期成会（玉城惇会長、小畑堅二副会長）
- 令和 3 4. 23 創立40周年記念式典 玉城惇会長
表彰：療育園園長 平安山英盛、元PTA会長 佐藤ヒサ子
6. 7 新型コロナウイルス感染症対策のための緊急事態宣言：臨時休校～6月20日
- 令和 4 4. 7 始業式・入学式、高等部1年3名
4. 24 創立42周年記念日集会
6. 26 地震火災避難訓練
6. 29 交流学习オンライン 鏡が丘特別支援学校
10. 22 浦分祭
11. 10 火災避難訓練
2. 22 校外学習 バス乗車体験（浦添・西海岸コース）
- 令和 5 4. 1 鏡が丘本校より訪問生の入学 男子1名
- 令和 6 4. 24 創立43周年記念日集会
10. 22 秋の校外学習（新都心：DFS）コロナ以降初めてバスを下車
11. 8 火災避難訓練
- 令和 7 11. 12 あいのそのこども園との交流終了（1992年から続いた交流を修了）
12. 3 「ゆめ水族園」開催 セイコーEPSON プレイルーム

6 歴代校長・教頭・事務長・PTA会長

歴代校長・教頭・事務長・PTA会長一覧				
	校長	教頭	事務長	PTA会長
初代	平良 銀永 (S56～)	伊波 園子 (S56～)	真榮城 守憲 (S56～)	玉柴 哲仁 (S56～)
2代	金城 順亮 (S58～)	本成 康浩 (S60～)	中村 久志 (S58～)	普天間 直章 (S58～)
3代	當銘 正幸 (S63～)	砂川 繁夫 (S62～)	新里 敏規 (S61～)	松本 光功 (S62～)
4代	嶺井 幹史 (H1～)	親富祖 善繁 (H1～)	伊志嶺 安亨 (H1～)	新里 健 (H4～)
5代	本成 康浩 (H4～)	金城 重雄 (H3～)	下地 典一 (H6～)	奥間 秀樹 (H8～)
6代	大城 正大 (H6～)	儀間 松助 (H6～)	山城 良朝 (H9～)	新里 健 (H10～)
7代	仲宗根 惠藏 (H8～)	吉岡 秀雄 (H8～)	村山 勝信 (H12～)	新垣 初枝 (H11～)
8代	横田 敏昭 (H10～)	田中 康一 (H11～)	普天間 キヨ子 (H14～)	奥間 由美子 (H12～)
9代	松島 朝重 (H13～)	新里 邦子 (H14～)	田村 晃 (H17～)	新川 喜光 (H14～)
10代	仲松 忠 (H16～)	宮里 政史 (H16～)	比嘉 美佐子 (H19～)	照屋 仁裕 (H16～)
11代	横山 久 (H17～)	田中 康一 (H17～)	比嘉 弘幸 (H22～)	宮里 尚安 (H18～)
12代	玉城 惇 (H20～)	宮城 拓人 (H19～)	神谷 英俊 (H24～)	比嘉 明美 (H19～)
13代	仲尾 武 (H23～)	平田 実 (H21～)	松田 哲 (H26～)	運天 政一 (H20～)
14代	長浜 勝直 (H26～)	仲村渠 修 (H23～)	佐事 伊津子 (H28～)	大浦 茂徳 (H21～)
15代	村吉 和枝 (H28～)	徳永 盛之 (H27～)	島袋 博 (H30～)	辺土名 邦子 (H23～)
16代	新垣 伸次 (H30～)	田港 規剛 (H28～)	高江洲 久枝 (R2～)	久我 信太郎 (H27～)
17代	座間味 恵利子 (R2～)	嘉手納 清 (H30～)	島袋 伸子 (R4～)	佐藤 ヒサ子 (H29～)
18代	上運天 滋 (R4～)	比嘉 徹 (R2～)	國吉 忍 (R6～)	小畑 堅二 (R1～)
19代	津波 佳和 (R7～)	下地 正也 (R4～)	新垣 和也 (R8～)	
20代		大城 琢也 (R7～)		
21代		赤嶺 加奈江 (R8～)		

令和8年度 学校経営方針 浦添分校

1 本県の教育目標（沖縄県教育振興基本計画 R4～R13 より）

県教育委員会は、個性の尊重を基本とし、国及び郷土の自然と文化に誇りをもち、創造性・国際性に富む人材の育成と生涯学習の振興を図り、次のことを教育の目標に教育施策を推進する。

- (1) 自ら学ぶ意欲を育て、学力の向上を目指すとともに、豊かな表現力とねばり強さもつ幼児児童生徒を育成する。
- (2) 平和で安らぎと活力ある社会の形成者として、郷土文化の継承・発展に寄与し、国際社会・情報化社会等で活躍する心身ともに健全な県民を育成する。
- (3) 学校・家庭・地域社会の相互の連携及び協力のもとに、時代の変化に対応し得る教育の方法を追究し、生涯学習社会の実現を図る。

2 学校経営の基本理念

沖縄県教育委員会の教育目標及び教育施策等を基本とし、本校の校章の願いである「木の景が黄緑から緑景にかわるように、すくすくと成長してほしい」を土台に児童生徒が健康でたくましく、心豊かに成長・発達する過程において、自立と社会参加、貢献できる力の育成を目指す教育実践に努める。

学校及び学部の教育目標を達成するため、人的・物的・財政的・組織的条件を整備し、能率的・機能的な運営を行い、肢体不自由と他の障害を合わせ持つ子どもらに対応し、児童生徒の「生きる力」を育む教育の充実のため、全職員・地域・保護者が一体となって取り組み、児童生徒と教職員が触れ合う学校、活力に満ち溢れ、信頼される学校、建設的な意見が述べられる学校をめざす。

3 教育目標と目指す方向

- (1) 学校教育目標「自立（自己の力を発揮しよりよく生きる）と社会参加（様々な分野へ参加する）」

児童生徒一人一人の障害の状態と心身の発達段階に応じて教育を施し、障害による学習上又は生活上の困難を積極的に克服しようとする意欲を育て、個性豊かで明るく、たくましく、ねばり強く生きようとする「生きる力」を育成し、自立と社会参加を目指す。

- (2) 校訓「すこやか」

昭和40年沖縄県初の肢体不自由校として開校し、昭和57年に現在地に移転後、昭和62年に校旗の樹立と石碑「すこやか」が建立される。以降校訓として定めた。児童生徒一人一人が日々の学習活動にひたむきに頑張る姿や笑顔は「健やかな成長」を願うものである。

3 分校の教育理念

小さきは 小さきままに 折れたるは 折れたるままに コスモスの花咲く
～昇地三郎～

コスモスの花は大小様々、折れ曲がって咲いているものもある。でもコスモスの花には変わらない。それぞれに美しい花を咲かせている。本校の児童生徒の障害も重度で様々です。しかし、どんなに障害が重くとも、あるがままに受け入れる。そこから本校の教育がスタートしました。

あるがままを受け入れ 成長させる 特別支援学校

4 (分校) の教育目標

- (1) 生徒個々の障害の状態及び発達段階に応じた基本的生活習慣を形成し、健康の保持・増進を図る。
- (2) 生活経験を広げて、外界への興味・関心の芽生えを培い、その発達を促す。
- (3) 感情豊かな児童生徒を育成し、集団生活に楽しく参加できるようにする。
- (4) 人や物の働きかけを受けとめ、可能な限り要求伝達のできる児童生徒を育てる。

5 (分校) 高等部の教育目標

- (1) 健康の保持・増進を図り、生活リズムの確立と基本的生活習慣の形成を目指す。
- (2) 生活経験を広げ、集団に参加する意欲と力を育てる。
- (3) 人とのかかわりを広げ、豊かな感性、確かな認識力を育てる。

(3) 具体的目標

① 分校キャッチフレーズ

あるがままを受け入れ 成長させる

② 目指す児童生徒像

健康	主体	自律	自立	協力
明るく元気でたくましい児童生徒	よく考え、自ら学び行動できる児童生徒	困難を克服しようと努力する児童生徒	最後までねばり強く頑張る児童生徒	仲良く思いやりのある児童生徒

③ 「めざす教職員像」

- ・児童生徒を愛し、一人一人の視点に立って、「個の良さ」を発揮させる教職員
- ・日々の教育活動に真摯に取り組み、その改善・充実に努める教職員
- ・特別支援教育の専門家として、自信と誇りに満ちた教職員
- ・保護者の思いや願いを共感的に理解し、その期待に応える教職員
- ・教育公務員として自覚と責任をもち、同僚性を大事にする教職員
- ・学校運営の広い視野に立ち、主体的に参画する教職員

④ めざす学校像

- ・児童生徒の人格を尊重し、豊かな感性と自立心を育む学校
- ・児童生徒がよりよく生きる力を身に付け、社会参加と貢献をめざす学校
- ・笑顔にあふれ、人や物を慈しみ、希望に満ちた活力ある学校
- ・児童生徒と保護者が「入学して(入学させて)よかった」「卒業して(卒業させて)よかった」、教職員が「勤務してよかった」と思えるような期待に応える学校
- ・明るく、綺麗な「花と緑と野鳥のさえざりに囲まれた」潤いのある学校
- ・歴史の継承と未来を創造し、地域に開かれた信頼される学校

6 本年度の重点目標

- (1) 保護者、沖縄療育園及び関係機関と連携し、自立と社会参加に向けた生徒の実態に応じた教育支援を行う。
- (2) 生徒の障害の状態及び心身の発達段階に応じた適切な指導・支援を行う。
- (3) 生徒が明るく快適で安全な学校生活を送れるように教育環境の安全確保に努める。
- (4) 学習指導要領を踏まえた教育課程編成を目指し、教科指導の充実、目標・指導・評価の一体化を推進する。
- (5) 全職員の資質・能力及び特別支援教育における専門的力量的の向上を図る。
- (6) 全職員協働体制の下、円滑な学校経営及び安全な学校管理を行う。
- (7) 生徒の自立と社会参加の実現のため「豊かな心」を育む道徳教育及び「主体性」や「生きる力」を育むキ

キャリア教育の視点による実践と研鑽に努める。

- (8) 交流活動等を通して、本校の実践を可能な限り広め、地域から信頼される学校づくりを目指す。
- (9) SDGs な働き方改革の取組として、①効率的な会議運営 ②定時退勤曜日の設定と推奨 ③教材研究日&ノ一会議デーの設定 ④ペーパーレスでのお知らせ推進をし、働きやすい職場づくりに努める。
- (9) 令和8年度の閉校に向け、これまでの歩みを整理する。

7 学校経営の基本方針

(1) 本校の教育目標を達成するための教育実践

- ① 本校の教育目標の達成のための教育の実践に努め「生きる力」を育む教育の実践
- ② 本校の教育目標を踏まえた、学部、学年、学級経営の実践
 - 学部経営案、学級経営案、教育週案、指導の記録の作成及び提出
- ③ 個別の教育支援計画、個別の指導計画、個別移行支援計画、キャリアパスポートの作成・活用
- ④ 障害の重度・重複化や多様化を考慮した生徒の教育課程の編成・指導の実践
- ⑤ 生徒個々の実態を踏まえ指導支援の工夫を行い、感染症対策を踏まえた安全で楽しい学習環境作りの確立
- ⑦ 各教師間の連携・協力
- ⑧ 教材・教具の作成及びコミュニケーション代替手段を含めたICT機器の有効活用
- ⑨ 保護者や主治医、隣接する施設、学校医等との連携
- ⑩ 感染症対策を念頭においた交流及び共同学習の推進
- ⑫ 毎時間・単元毎における適切な教育評価と改善

(2) 保健指導、安全指導

- ① 生徒の健康観察及び記録の徹底
- ② 学校保健日誌の記録と提出
- ③ 生徒の健康管理と安全対策
 - 養護教諭、保護者、隣接する施設との連携
 - 緊急時シミュレーションの実施
- ④ 教室環境（内外）の整備（室温調節、換気、消毒、危険物の除去）
- ⑤ 歩行、車椅子操作の介助・支援方法（事故防止）、ヒヤリハット事例の共有
- ⑥ 遊具、教材・教具等の点検（安全、保清に務める）
- ⑦ 摂食についての基礎的な知識・技能の習得、保護者、隣接する施設との連携

(3) 校外における行事等の安全対策

- ① 教育目標・内容に合った行事の精選と一人一人の課題確認
- ② 行事計画（隣接する施設との事前調整を含む）及び行事終了後の反省
- ③ 事前の下見及び点検
- ④ 出発前の健康チェック
- ⑤ 実施中の安全管理及び緊急時の対応（医療機関等の協力）
- ⑥ 保護者への協力願い（教職員の役割と保護者の役割の確認徹底）

(4) 施設、設備の管理と点検

- ① 安全点検を定期的実施し、改善の方法、危険物の除去、施設・設備の迅速な補修
- ② 車椅子の点検を常に行うと共に、正しい操作に努め、通路、出入り口等の点検

- ③ 定期的に全体清掃、全体作業等を計画し、室内及び室外の整理整頓
- ④ 教材・教具、備品の有効活用
- ⑤ SDGs を念頭におき、効率的な節電、節水を心がけ、職員の省エネ意識高揚の推進

(5) 環境整備

- ① 敷地の有効活用と情操教育に役立つ環境美化の構築
- ② 校舎内外の整理整頓と保清
- ③ 季節に合った草花の植付け及び管理で潤いのある環境づくり

(6) 職員体制

- ① 小規模校の特徴を生かした職員の協働体制づくり
- ② 学部主事、分掌主任、学年主任等のリーダーシップの発揮
- ③ 適材・適所による校務分掌での配置
- ④ 校内研修の充実
- ⑤ ICT を活用した授業実践
- ⑥ 特別支援教育へのセンター的機能への対応
- ⑦ 教育相談体制の充実
- ⑧ 事務現業職員との連絡調整の徹底
- ⑨ 健康管理及び働く環境の充実

(7) 職員の服務規律の遵守

- ① 教育公務員としての使命と職責の重大さを自覚した、職務の遂行
- ② 交通安全義務違反等の不祥事が起こさない心がけ
- ③ 服装、言葉遣いに留意し、保護者や来客及び電話対応等への気配りの心がけ
- ④ 事件、事故等が発生した場合は直ちに情報収集、適切な判断・処理を行い、再び起こさない心がけ
- ⑤ 日ごろから危機に備えた密な情報提供（相談）、報告、連絡の徹底
- ⑥ 法規を遵守し、教育公務員としての自覚の認識
- ⑦ 出張、休暇処理等については、事前の迅速な処理
- ⑧ 「教師こそ教育環境である」ことを自覚したモラルの高揚
- ⑨ 公文処理等においては、正確・迅速が基本

8 具体的実践計画

- (1) 学校教育の目標である「生きる力」の育成を踏まえて、生徒の主体的活動を重視し、教育活動の土台に位置付ける。
- (2) 児童生徒の自立と社会参加に必要な基礎・基本となる事項を明確にし、各教科の系統性を取り入れた個別の教育支援計画・個別の指導計画を作成し、小中高一貫した指導の充実に努める。
- (3) 個別の指導計画と年間指導計画の連携を図り、「学びのチェックシート」を活用して、社会参加に向けた生徒一人一人の発達段階に応じた主体性を高める指導を行う。
- (4) 指導上特に配慮を有する児童生徒の障害の特性等に応じた適切な指導の充実に努める。
- (5) 各教科で基礎基本の徹底を図り、障害特性による困難を自立活動で改善を図るとともに、一人一人の自己実現に向けた「生きる力」の育成のため、「キャリア教育全体目標」、「鏡が丘育てたい力」を踏まえ、授業の充実に図り、卒業後の自立と社会参加を目指したキャリア教育を推進する。
- (6) 個別の教育支援計画の活用等により、保護者及び医療・労働・福祉等の関係機関との連携を強化する。

- (7) 健康安全教育及び食育、性教育を推進し、学校生活全ての面において細心の注意を払い、安全安心な学校づくりに努める。
- (8) 特別支援教育のセンター的機能・校内支援の充実と交流及び共同学習の推進を図る。
- (9) 情報機器の整備・充実により教育情報化を推進し、ICTの教育活用に努めるとともに、情報モラルの指導の徹底を図る。
- (10) 道徳教育の年間計画に基づき、道徳的実践力の向上に努める
- (11) 職員の資質及び専門性の向上を図るための校内研修の充実に努め、特別支援学校教諭等免許状保有率の向上、教職員評価システムの適切な運用に努める。

Ⅲ 令和8年度 教育課程

1 学校の教育目標

生徒に対して、個々の障害の状態及び発達段階に即した教育を実施するため、次のとおり具体的目標を設定する。

- (1) 生徒個々の障害の状態及び発達段階に応じた基本的生活習慣を形成し、健康の保持・増進を図る。
- (2) 生活経験を広げて、外界への興味・関心の芽生えを培い、その発達を促す。
- (3) 感情豊かな生徒を育成し、集団生活に楽しく参加できるようにする。
- (4) 人や物の働きかけを受けとめて、可能な限り要求伝達のできる生徒を育てる。

高等部の教育目標

- ①健康の保持・増進を図り、生活リズムの確立と基本的生活習慣の形成を目指す。
- ②生活経験を広げ、集団に参加する意欲と力を育てる。
- ③人との関わりを広げ、豊かな感性、確かな認識力を育てる。

2 授業日数配当表

① 授業日数表													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3年	17	18	21	13	0	19	21	19	19	17	18	14	196
備考													

3 週時程表

高等部 週時程表

校 時	月	火	水	木	金
1	9:10～ 10:10				
2	10:15 ～ 11:05				
3	11:10 ～ 12:10				
12:10～13:45	昼食・休憩等（療育園での日課）				
4	13:45 ～ 14:35				
5	14:40 ～ 15:40				

4 時数配当表 高等部普通科（Ⅱ）課程

③ 標準授業時数表【各教科等を合わせた指導を含む】
Ⅱ課程（知的障害高等部の教育課程）

教科等	1年				2年				3年				備考
	総時数	教科別の指導	合わせた指導		総時数	教科別の指導	合わせた指導		総時数	教科別の指導	合わせた指導		
			日	生			日	生			日	生	
各学科に共通する各教科	国語	0		0	0	0	0	0	100	41	59	33	体育理論・保健を含む
				日	0			日	0			25	
				生	0			生	0			22	
					0				0			0	
	社会	0		0	0	0	0	0	47		47	25	
				日	0			日	0			22	
				生	0			生	0			0	
					0				0			0	
	数学	0		0	0	0	0	0	38		38	21	
				日	0			日	0			17	
				生	0			生	0			0	
					0				0			0	
理科	0		0	0	0	0	0	44		44	21		
			日	0			日	0			23		
			生	0			生	0			0		
				0				0			0		
音楽	0		0	0	0	0	0	46		46	21		
			日	0			日	0			25		
			生	0			生	0			0		
				0				0			0		
美術	0		0	0	0	0	0	35		35	13		
			日	0			日	0			22		
			生	0			生	0			0		
				0				0			0		
保健体育	0		0	0	0	0	0	46		46	21		
			日	0			日	0			25		
			生	0			生	0			0		
				0				0			0		
職業	0		0	0	0	0	0	23		23	13		
			日	0			日	0			10		
			生	0			生	0			0		
				0				0			0		
家庭	0		0	0	0	0	0	27		27	8		
			日	0			日	0			19		
			生	0			生	0			0		
				0				0			0		
外国語	0		0	0	0	0	0	19		19	4		
			日	0			日	0			15		
			生	0			生	0			0		
				0				0			0		
情報	0		0	0	0	0	0	24		24	8		
			日	0			日	0			16		
			生	0			生	0			0		
				0				0			0		
学校設定教科	0				0			0					
	0				0			0					
共通教科時数計	0	0			0	0			449	41			
道徳科	0		0	0	0	0	0	43		43	17		
			日	0			日	0			26		
			生	0			生	0			0		
				0				0			0		
特別活動	ホームルーム活動	0		0	0	0	0	35		35	0		
			日	0			日	0			0		
			生	0			生	0			0		
				0				0			0		
自立活動		0		0	0	0	0	519	519	0	0		
			日	0			日	0			0		
			生	0			生	0			0		
				0				0			0		
総合的な探究の時間									10				
教科別の指導で行う時数		0			0				570				
各教科等を合わせた指導で行う時数				0							451		
総時数		0			0				1056				

【指導形態】			
日常生活の指導	0	0	205
生活単元学習	0	0	246
0	0	0	0
合計	0	0	451

様式15 高等部普通科（Ⅱ課程）

③【各教科等を合わせた指導における「各教科等の時数」】

		1年	2年	3年	備考
日常生活の指導	国語			33	
	社会			25	
	数学			21	
	理科			21	
	音楽			21	
	美術			13	
	保健体育			21	
	職業			13	
	家庭			8	
	外国語			4	
	情報			8	
	道徳			17	
	ホームルーム				
	自立活動				
合計	0	0	205		

生活単元学習	国語			26	
	社会			22	
	数学			17	
	理科			23	
	音楽			25	
	美術			22	
	保健体育			25	
	職業			10	
	家庭			19	
	外国語			15	
	情報			16	
	道徳			26	
	ホームルーム				
	自立活動				
合計	0	0	246		

	国語				
	社会				
	数学				
	理科				
	音楽				
	美術				
	保健体育				
	職業				
	家庭				
	外国語				
	情報				
	道徳				
	ホームルーム				
	自立活動				
合計	0	0	0		

各教科等を合わせた指導 合計	0	0	451	
-------------------	---	---	-----	--

IV 組織及び運営

1 生徒数及び学級編制表

(1) 生徒数及び学級編制表

学部	学年	在籍数			学級種	学級名
		男	女	計		
高等部	1年	0	0	0		
	2年	0	0	0		
	3年	0	2	2	重複	1組
	小計	0	2	2		
合計		0	2	2		

(2) 職員数

職名 性別	校長	教頭	事務長	教諭				養護教諭	司書	事務	介助員	用務員	計
				小	中	高	計						
男	(1)	(1)	(1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 (3)
女				0	0	3	3	1	(1)	1	(1)	(1)	2 (3)
計	(1)	(1)	(1)	0	0	3	3	1	(1)	1	(1)	(1)	5 (6)

※ () は兼務職員及び会計年度任用職員

2 疾病障害統計

令和8年5月1日現在

疾病障害名	学部	中学部		高等部		訪問				全体		中学部計	高等部計				
		性別	男	女	男	女	中学部		高等部		計			百分率			
							男	女	男	女							
															男	女	男
在籍	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2	2	%	0	2			
染色体・DNA	ダウン症候群(21トリソミー)											0	0	0	0.0%	0	0
脳・神経	脳	脳性まひ				2						0	2	2	100.0%	0	2
		脳原性運動機能障害										0	0	0	0.0%	0	0
		てんかん										0	0	0	0.0%	0	0
		言語障害				1						0	1	1	50.0%	0	1
		脳性後遺症										0	0	0	0.0%	0	0
												0	0	0	0.0%	0	0
	脳血管	脳血管障害(出血・梗塞)性後遺症										0	0	0	0.0%	0	0
	神経	その他の脳神経疾患										0	0	0	0.0%	0	0
精神	精神	知的障害				2					0	2	2	100.0%	0	2	
運動器		四肢麻痺・運動障害等										0	0	0	0.0%	0	0
		その他の骨系統疾患										0	0	0	0.0%	0	0
		二分脊椎										0	0	0	0.0%	0	0
		筋ジストロフィー症										0	0	0	0.0%	0	0
		脊髄性筋萎縮症										0	0	0	0.0%	0	0
		その他の運動器疾患										0	0	0	0.0%	0	0
循環器	心臓	ファロー四徴症										0	0	0	0.0%	0	0
		心房・心室中隔欠損症(術後含む)										0	0	0	0.0%	0	0
		弁疾患(狭窄症・閉鎖不全症)										0	0	0	0.0%	0	0
		心筋症(拡張性・潜在性)										0	0	0	0.0%	0	0
		心臓奇形・心血管奇形・欠損症										0	0	0	0.0%	0	0
		その他の心疾患										0	0	0	0.0%	0	0
呼吸器		ぜんそく										0	0	0	0.0%	0	0
		慢性気管支炎										0	0	0	0.0%	0	0
腎・泌尿器		慢性腎機能障害・腎不全										0	0	0	0.0%	0	0
		その他の腎臓疾患										0	0	0	0.0%	0	0
		その他の膀胱疾患										0	0	0	0.0%	0	0

市町村別児童生徒数

1 市町村(本人住民基本台帳)別幼児児童生徒数

教育部門	市町村	幼稚部				小学部						中学部				高等部				合計
		3歳児	4歳児	5歳児	計	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	計	1学年	2学年	3学年	計	1学年	2学年	3学年	
肢体不自由	浦添市				0							0			0	0	0	2	2	2
					0							0			0					0
					0							0			0					0
					0							0			0					0
					0							0			0					0
					0							0			0					0
					0							0			0					0
					0							0			0					0
					0							0			0					0
		計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2

2 市町村(保護者等住民基本台帳)別幼児児童生徒数

※施設等入所者で保護者等と住民票が異なる幼児児童生徒が在学している場合に追加使用

教育部門	市町村	幼稚部				小学部						中学部				高等部				合計
		3歳児	4歳児	5歳児	計	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	計	1学年	2学年	3学年	計	1学年	2学年	3学年	
肢体不自由	那覇市				0							0			0					0
	浦添市				0							0			0					0
	宜野湾市				0							0			0					0
	沖縄市				0							0			0			1	1	1
	石垣市				0							0			0					0
	南風原町				0							0			0			1	1	1
					0							0			0					0
					0							0			0					0
					0							0			0					0
		計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2